

教育委員会関連事務報告（7月報告）

令和8年8月3日

小学校で薬物乱用防止教室(6年生)を開催

令和8年7月2日(木)、小学校 6 年生で、桑名警察署の生活安全課の方を講師にお招きし、「薬物乱用防止教室」を開催した。お酒やたばこは 20 歳からというルールをはじめ、違法薬物の種類や脳に与える恐ろしい影響、そして巧妙な誘い文句への断り方などを具体的に学習した。「もし自分だったらどうするか」をリアルに考える、大変貴重な機会となった。学校の教職員からだけでなく、第一線で活躍される専門の方から直接伺うお話は、やはり子どもたちの心に深く響くものがあると改めて実感した。



木曽岬こども園 セタ会

令和8年7月3日(金)に、木曽岬こども園にて「セタ会」を実施した。園児達は一生懸命練習した歌や楽器演奏を保護者の前で披露することができ、とても充実した表情を見せていた。

発表後は、園運営協議会委員と民生委員の皆さんの協力を得て、教室や遊戯室で模擬店を行い、園児たちは笑顔いっぱい楽しむことができた。今年度も、トマッピーキッズサークル(未就園児)の子どもたちを模擬店に招待し、楽しんで活動いただくことができた。

小学校で情報リテラシー講座(5・6年生)を開催

令和8年7月3日(金)、5・6 年生が外部の専門企業の方から、インターネットの正しい付き合い方を学んだ。ネット上に一度広がった情報は消せないことや、匿名の書き込みでも責任が生じることなど、具体的な事例を前に、子どもたちは我が身を振り返りながら聞いていた。便利なツールだからこそ、常に「相手の気持ち」を想像して使えるよう、「受け取る相手がどう思うかを大切に」という、発信時の最も重要な心構えを学んだ。



中学校情報モラル講習

令和8年7月3日(金)、外部の専門企業の方を講師に招き、ネットモラル講習を行った。SNSの使用にあたって、「目の前にいない相手の気持ちを考えること」、「情報を見抜く力」、「被害に巻き込まれないために」、「自分が加害者にならないために」など大事なポイントに触れ、SNS使用によって誹謗中傷やいじめの温床になったり、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになったりする話をしていただいた。



木曽岬音頭・小唄を踊ろう講座

令和8年7月4日(土)・18日(土)、小学校ふれあいホールと福祉教育センター集會室にて木曽岬音頭・小唄を踊ろう講座を行った。両日約 20 人が参加し、小学生やこども園の児童も保存会会員に混じって元気に踊っていた。



木曽岬町青少年育成町民会議 令和7年度第2回理事会

令和8年7月13日(月)、役場4階会議室にて開催した。

概要は次のとおり。

議 事

○ 今年度の事業について

(1) 事業の経過報告について

- ① 花いっぱい運動について
- ② あおいそら運動(あいさつ運動)について
- ③ 非行防止パトロールについて
- ④ 夏休み期間中における健全育成 PR 広報について

(2) 今後の事業計画について

- ① 夢に向かってがんばる木曽岬っ子応援キャンペーン講演会について
- ② わが家のスローガン

○ 町内の近況報告について



中学校 中体連桑員大会で暑さに負けず奮闘！

7月4日に九華公園で軟式野球大会、7月11日にヤマモリ体育館でバレーボール大会、同じく11日にNTN総合運動公園でソフトテニス大会(個人)、7月19日には輪中ドームでソフトテニス大会(団体)が開催されました。生徒は最後まで力を合わせて試合に臨み、頑張りました。また保護者のみなさんもたくさん応援してくださいました。

小学校6年生で、コミュニケーション講座を開催

7月16日(木)に、臨床心理士の方を講師にお招きし、6年生を対象にコミュニケーション講座を行った。ワークや漫画を通し、「主観(自分だけの見方)」と「客観(誰が見ても分かる見方)」の違いについて学習した。「主観は芸術につながる力、客観は科学につながる力」として、どちらも大切であることを学んだ。また、相手への思いやりも、伝え方ひとつで誤解が生じてしまう難しさについても考えた。より良い関係を築くためにどんなコミュニケーションをとればよいのか、子どもたちは自分事として一生懸命に考えていた。



小中学校・こども園 1学期終業式 挙行

令和8年7月17日(金)、小中学校及び木曽岬こども園で1学期の終業式が挙行された。中学校では、写真を交えながら1学期を振り返り、学校長から子供たちの素晴らしい点について話をした。また夏休みの3つの約束として「計画的な学習」「命を守る行動」「SNSのルールの遵守」について子どもたちに呼びかけた。小学校でも児童の頑張りや夏休みの規則正しい過ごし方、熱中症対策についての話があり、子どもたちは真剣な眼差しで話を聞いていた。

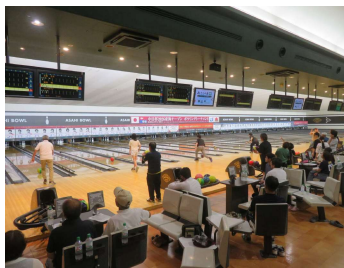


第33回(令和8年度)町内ボウリング大会 開催

令和8年7月19日(日)、木曾岬町スポーツ協会主催の“第33 回木曾岬町ボウリング大会”をアソビックスあさひボウリング場で開催した。

今年は一般部門32名とジュニア部門6名の38名が参加し優勝を争った。道藤副会長の始球式の後にゲームが始まると、各レーンからは親子連れや職場の同僚たちと笑い声や悔しがれる声が聞かれるなど終始和やかな雰囲気の大大会となった。

なお、各部門の結果については、広報きそさき9月号にて掲載予定。



昆虫標本教室①を開催

令和8年7月25日(土)

木曾岬子ども未来塾の体験学習として小学3年生から6年生を対象に昆虫標本づくり教室を開催した。これは夏休みに入り、町内にどのような昆虫が生息しているのかを調べるとともに、標本にしてじっくりと観察できるよう作り方を学び、その成果を夏休みの自由研究に役立ててもらおうと初めて企画したものであり5年生の児童とそのご家族が参加した。講師は町内に住んで三重総合博物館で資料整理のボランティア活動もされている河合雄治さんに務めていただき、学校の森で蝉や蝶、バッタなどの昆虫を採集し、その後標本づくりのための下処理や展示の方法を学んだ。今回下処理した昆虫標本は乾燥させ、次回8月23日(日)の2回目の教室で完成させる予定である。

小中合同研修会を開催

令和8年7月27日(月)に、株式会社先生の幸せ研究所より若林健治先生を招き、『創造的「余白づくり」～自助と共助の両輪で進める～をテーマとした教職員の働き方についてのワークショップを開催した。

個人の自立を支える「自助」と、職場での支え合いである「共助」の両立を、業務における「余白(余裕)」を作り出し、児童生徒とのかかわりや自らが求める理想の生活の観点から考えることを目的とした。当日はワークショップを中心に構成され、参加者は自らの生活スタイルや思考の偏りや思い込み(バイアス)について対話を通じて深く掘り下げた。

二学期から始められる、新たな働き方の形を模索する有意義な時間となった。



こども図書館司書体験会を開催

令和8年7月28日(火)、町立図書館にて開催した。子どもの読書活動推進と図書館に興味を持ってもらうことを目的に夏休み期間にあわせて実施しており、今年で3回目の開催となった。小学5年生と6年生の2名の参加者は、司書から図書の分類の規則の説明を受けた後、普段は入れないバックヤードの見学や持参した本の装備体験をするなど司書の仕事を理解するとともに図書館を身近に感じてもらう機会となった。



子ども未来塾夏特勉を開催

令和8年7月 29 日（水）～31 日（金）、町民ホールにて開催した。

29 日は 17 人、30 日は22人、31 日は21 人の参加があった。英語を使ってゲームをしたり、外国の方と中継でつながリアルタイムで会話をしたりした。英語を使ったゲームでは、楽しく盛り上がりながら取り組む姿が見られた。外国の方との中継での会話では、1 日目には緊張していた子も 3 日目になると自分から会話をしようとする姿も見られた。



令和8年 第5回教育委員会 開催

令和8年7月30日（木）、役場4階防災会議室にて開催した。概要は次のとおり。

<協議事項>

- 木曾岬町教育委員会点検・評価報告書（令和7年度事務事業分）（案）について

<報告事項>

- 教職員の夏季合同研修会について
- 英語検定（準会場）の実施について
- 令和8年度「三重の教育談義」開催について
- 総合教育会議の日程について
- 令和7年度会計事務報告（教育委員会関連分）について
- 教育委員会実施事業記録について
- 夏季休業中における児童生徒対象の教育活動等について
- 令和8年度全国学力・学習状況調査について
- 学校における情報共有について



木曾岬町スポーツ協会臨時理事会を開催

令和8年7月30日（木）、町スポーツ協会臨時理事会が役場 4 階会議室で開催された。今回の理事会では、今年 10 月 18 日（日）に予定している第63回町民体育祭の実施計画案について審議された。事務局の提案通り可決され、いよいよ町民体育祭に向け、さまざまな準備等が具体的に行われていくことになった。